

# 蕨と成年式

## 第一回青年祭開催要項

金子 吉 衛

ふるさとわらび第五号  
蕨郷土史研究会  
昭和五〇年六月十五日

敗戦直後、我が国は世をあげて虚脱の状態に陥った。この当時何としても、次代を背負う青年達には明るい希望を持たせ励ましてやりたい、時の蕨町青年団長高橋庄次郎君が主唱者となって青年祭なるものを企画した。そして、これを昭和二十一年十一月二十二日にはなばなく挙行することになった。なば時の町長は、岡田徳輔氏だった。この蕨の青年祭は、二年後の昭和二十三年に、国の祝日に取り入れられて、今日全国的な成人の日の成人式になったのである。この上りな経緯から現在蕨市が成人式の発祥地であると称されていることは、既に御承知の通りである。

ところで先日、この第一回の「青年祭開催要項」なる印刷物が見つかった。これを見ると、色々と当時の模様が分かり、参考になることが多いので末尾にこれを掲げることにした。

私は市長就任以来、この伝統を誇る蕨の成年式を、更に如何にしたら特色のあるものにする事ができるか、腐心してきたつもりだ。

昔とちがって、今日では天長節も、紀元節もある訳ではない。市の年中行事といえば、一月十五日の成人の日、九月十五日の敬老の日、それに三月の中・小学校の卒業式くらいのものである。

そこで、この成年式の会場の配置や、式次第なども青年たちと相談して、工夫することにした。また主催者としての私の式辞なども、はじめのころは内村鑑三先生の「後世への最大遺物」という書物の話などを自分で書いて読みあげたものだった。しかし、どうも、式辞の朗読は今の若い人達にはビュッタリとないことを感じて、その後これを止めることとした。

そのほか、若い人達に成人に達した感想文を書いて、式の当日出してもらうことにしてきた。これは自由勝手に書くか、昨年よりは出席率が上がった。この出席者の約三分の一が感想文を書いてくれた。今年の新しい市民会館が式場になったため、貴重な資料になると思っている。

この二六通の感想文を、今年は北小の江里校長先生に、読んでいただいた。先生は、丹念に読んで、貴重を所感を発表されているが、その事についてはまた別の機会にゆずることにした。

### 参考

#### 第一回青年祭開催要項

一、期 日 昭和二十一年十一月二十二日（金曜 青年記念日）二十三日（土曜 新嘗祭）二十四日（日曜）の二日

#### 問

一、主催 蕨町 蕨町青年団  
一、協賛 蕨第一国民学校 蕨第二国民学校 蕨町青年文化協会 蕨町工業振興会 蕨町農業会 蕨町青年団後援会  
一、後援 朝日新聞社

#### (一) 成年式

○ 式典 十一月二十二日午前九時より蕨第一国民学校運動場（雨天の際は蕨劇場）  
開式の辞（青年団長）